



3月園だより

令和5年3月1日

目黒区立目黒本町保育園園長

先日、5歳児クラスがクッキーづくりをしました。白い生地と茶色い生地があり、ひとり一人好きなように形を作っていきます。混ぜたり、動物の顔にしたり、花にしたりと、それぞれ思い思いの形が出来あがりました。そんな中、「四角が良い」と丸めた生地をつぶして完成させている子どもがいました。形を作ることに苦手意識があり作ることが出来ないととらえることも、自分がこれで良いと思うことを表現して貫いているともとらえられます。焼きあがったクッキーはどの形を作った子どもも自分で作った喜びに溢れた笑顔で食べていました。

今年度ももうすぐ1年を迎えます。子どもたちは、日々色々な経験を重ねながら心も体も大きくなっています。成長の過程では「出来るようになること」がわかりやすく目に見える成長としてとらえやすいものとなります。歩けるようになった、自分で着替えが出来るようになった、挨拶が出来るようになった、そんな姿を実感すると嬉しく思います。同時に「出来ること」が全てではないことも大事なことでと考えていきたいと思えます。ひとり一人得意なこと苦手なことがあり、頑張っていることと困難なことがあります。出来たとしても今はやりたくない、甘えたい時もあります。子どもたちは誰一人として同じ人はおらず、それぞれの個性は尊重されるべきことです。出来たことを共に喜び、出来るようになるきっかけや、やってみたくなる環境を用意し、「やりたくない」「出来ない」ことを受け止めそれぞれのありのままの姿を認めていくことに心を配ってきました。子どもたちが羽を伸ばして飛びたい時に飛びたいように飛べること、羽を閉じたい時は閉じて良いこと、自分の思うように進んでいい、自分の意思で判断できる子どもに育てていくことを見守っていきます。

行事予定

卒園式	5歳
お別れ遠足	3歳～5歳児
お別れ会	全園児
身体計測	全園児
避難訓練	全園児

～クラス移動日について～

- ・荷物の入れ替えなど新クラスの準備をします。
- ・新クラスの保育室で現担任が保育をします。
- *詳細は各クラスに掲示します。
ご協力をお願いします。



らいおん組(5歳児クラス)

一年間で成長した姿



スカリーノというレールをつなげビー玉を転がして遊ぶ遊具があります。遊びのルールを友達と相談しながら決めていて、「ここから落ちたら地獄行きね。友達がビー玉を転がして助けに行ったら地獄から抜け出せるのね。」と盛り上がっています。ルールを守れない子がいると「そんなのダメだよ。」「ルール守らないなら入れない」と喧嘩になってしまう姿がありますが、それでもやはり友達と一緒に遊びたくて、気持ちを切り替えて友達と決めたルールを守って遊ぶ姿が出てきました。自分たちで気づける時と大人が仲立ちすることで相手の思いに気づける時もあり、「自分が同じことされたらどう思う」とその都度振り替えることで相手の立場や思いにも気づけ、どうしたら楽しく遊べるのかを考えられるようになってきました。

この1年間、友達とぶつかり合うことも沢山ありましたが相手の思いにも耳を傾け、思いを伝えあってきたことで一緒に遊ぶ楽しさや喜びを味わえるようになってきました。また友達の良さを認めながら、助けあい一緒に楽しく過ごす仲間関係になりました。

ぞう組(4歳児クラス)

おやつで出たポンカンの中に種が沢山入っているのを見て、「お庭に種を撒きたい」と言いました。保育士が土の入ったプランターをテラスに運んできて「自分で埋められますか」と聞くと「えーどうやるの」と困っていました。すると近くにいた友達が「私もやる、指でブスってやって穴をあけるんだよ」と教えてくれ土に穴をあけ一緒に種を埋めていました。保育士が後ろから様子を見てみると、最後にそっと土をかけて「できたね」と喜び合っていました。保育士が「これじゃポンカンが植えてあることがわからないですね」とつぶやくと「絵を描こう」とポンカンの絵を描き「これ挿しといてね」と自慢気な様子で言っていました。友達や保育士が困っていると一緒に考えたり、教えてくれたりして相手を思いやる気持ちや助け合う喜びを感じる姿が沢山見られるようになりました。



うさぎ組(2歳児クラス)

棚の上にお手玉やチェーンの入った皿やカップを並べ、「いらっしやいませー」とお店屋さんになった友達を見て、バックを片手にお客さんが集まってきました。「からくないかれーです」「チョコのポップコーンだよ」と色々な店の品物を紹介する店員さんに、「これくださーい」「パパがたべるから、おおきいの」と嬉しそうに選ぶ子どもたちです。次々と無くなる品物を見て「つくるから、まっててください」と後ろのテーブルで品物作りを始める子もいます。お客さんになった子が「カードいいですか」と支払いをお願いすると、店員さんが「こっちは」とレジに見立てた箱を置いて案内をしています。「ここでピッしてください」と指した場所に、カードに見立てた小さな積み木を「ピッ」と言いながらかざすと、「ありがとうございました」と挨拶も忘れません。保育士も一緒に遊びながら子どもたちのイメージを繋げ、遊ぶ楽しさに共感してきました。今は子どもたち同士でも経験したことを再現し、役になりきって楽しんでいます。



りす組(1歳児クラス)

テーブルでスプーンを包丁に見立ててトントンと音を鳴らしてお手玉を切っています。「カレー作ってるからね」と忙しそうにお手玉をお鍋に入れていました。保育士が「いい匂いしてきたね」と伝えると、茶碗にお手玉を入れて「できたよ」と持ってきてくれました。保育士が「いただきます」と食べる真似をすると、嬉しそうにしています。そばで見ていた友達が「カレーは辛いのよ」と言ってコップとペットボトルを保育士に渡して、「カレーください」と注文していました。「はい、待ってくださいね」とまた、カレー作りが始まりました。生活の中での子どもたちのイメージを汲み取り、保育士も一緒に共感して遊んできました。友達の遊びにも興味が出てきて簡単なやり取りも楽しくなってきました。

こぐま組(3歳児クラス)

園庭で追いかけてっこをしている時のことです。保育士が追いかけてくるのを見て「キャー、オオカミが来た」と子どもが言うと、周りにいた子が「おうちに逃げなくちゃ、食べられちゃう」「早くレンガのおうちを作ろう」と言い、「3匹のこぶた」のストーリーの再現遊びが始まりました。オオカミ役の保育士が近づくと小声でオオカミに見つからないように友達と一緒に「オオカミが入らないように鍵ガチャガチャ」と鍵を閉める仕草をし、タイヤとマットを組み合わせて家を作りました。子どもたちは「うん、食べられない」と顔を見合わせて笑い合っていました。子どもたちでイメージを共有しながら楽しめるようになってきました。思いがぶつかり合うこともたくさんありましたが、保育士が仲立ちをして思いを聞いたり、一緒にどうしようかと考えたりしてきました。友達と遊ぶ楽しさを感じられるようになった子どもたちです。

ひよこ組(0歳児クラス)

公園に着くとすぐに、思い思いの好きな場所へと歩いて向かっていきます。大きな木の根元に行った子は、根の間をのぞき込み「んーん」と残念そうな表情です。先日保育士とみつけたダンゴムシを覚えていたようでした。「虫さんいないね、あっちかな」と一緒に近くを探すと木の実を見つけ「あ」と保育士と目を合わせて喜んでいます。その姿をみた友達も何かと木の周りに集まり夢中になって探し始めました。この一年、子どもたちと視線を同じにして、気付きを一緒に喜ぶことを大切にしてきました。今では自分から行きたいところに行き、みつけた喜びを伝えてくれて、安心できる大人とのやり取りを楽しんでいます。

